公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	アイビーキッズ布田			
○保護者評価実施期間	2026年　8月　4日	～	2026年　9月　1日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	39人	（回答者数）	39人
○従業者評価実施期間	2026年　8月　11日	～	2026年　9月　4日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	5人	（回答者数）	5人
○事業者向け自己評価表作成日	2026年　10月　1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	子どもの個性に寄り添った質の高い直接支援	子どもの状態や特性を深く理解し、困りごとに根気強く向き合うとともに、楽しく達成感を得られる個別指導を行っています。	支援内容や子どもへの関わり方について、全職員が参加するケース会議や研修を定期的に実施し、情報共有と質の均一化を図ってまいります。チーム全体で子ども一人ひとりに丁寧に向き合い、質の高い支援を提供できるよう体制を強化してまいります。
2	安全面と動線に配慮した指導空間の有効活用	限られたスペースの中でも、棚の配置変更や時間帯による空間の区切りなどを工夫し、子どもが集中して安全に活動できるよう工夫しています。	室内レイアウトの見直しや時間帯に応じた空間の区切りなど、動線と安全面に配慮した工夫を継続・強化いたします。限られたスペースの中でも子どもが伸び伸びと安全に活動できるよう、環境調整とプログラムの最適化に努めてまいります。
3	日頃の丁寧な対話と保護者への情報共有	毎回のフィードバックや定期面談で子どもの様子や支援の狙いを丁寧に伝え合い、ご家族の悩みにも共感的に寄り添う体制を整えています。	子どもの成長や日頃の支援に対する温かいお言葉をいただき、職員一同大変励みになっております。いただいたお声を励みに、今後も子ども・保護者に寄り添った丁寧な支援を提供できるよう尽力してまいります。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者同士の交流機会や家族支援・きょうだい支援の充実	日常の連絡や面談対応に注力しており、保護者会やご家族・きょうだい児も参加できるイベント等の設定が不十分であったため。	保護者同士の情報交換の場や、ご家族・きょうだい児の皆様にご参加いただけるイベント等の機会提供に向け、事業所として具体的な企画・実施を検討してまいります。
2	面談・相談時におけるプライバシー環境の配慮	施設構造上、待合スペースや周囲への声の聞こえ漏れに配慮が必要な場面があったため。	保護者のプライバシー配慮を徹底するため、面談時における音漏れ防止策や相談環境の工夫を迅速に導入いたします。今後も保護者が安心してご相談いただける環境の整備に努めてまいります。
3	地域交流の推進および衛生・設備管理の徹底	地域住民や近隣関係機関との連携・交流機会の創出が発展途中である点や、換気扇等の設備衛生管理の継続的強化が必要なため。	近隣施設や関係機関との連携可能性を模索し、地域交流や情報発信に取り組むとともに、設備等の衛生管理・清掃点検チェック体制を全職員で強化徹底してまいります。